

本日6月20日農業教授法回文

農業部等々諸君！

我々農業部學生は約一ヶ月間校園ハ目暮工^{（木暮工）}オつし
モ守した。且、三〇農教授法回文にわざての幻想はあり
しく鈴木^{（鈴木）}すまつた。すなわち六、六編決起大會に
みはる農教授法の出席を見じめらるやうであろう。さらに
又ハ二の理事長回文を拒否の被り學生を一切無視した
ところの一たぬものであつた。

我々學生の不寧しうつものは一月大きなものとなつて
いしませりであつて。それに追いつくをみけるやうに教授
の内部にわける間にこゝ反対へ教授法としていたゆゑに
グループとしての理事長に屈した形の案までござる
（）かおり教授法としての確固たる裏といつものが明るう
になつていなし。さす最初に一の裏を語り及にコセねば
ならぬ。

教授法にわづて三十九年以來五度五年おかれつゝ口
てきた農業部再編の精神を忘れ去り政治的配慮によつて
のみ校园建設を実施しようとしている。

我々は過去諸先輩はまざきあげてさした傳業を正当にうけ
つき教授法の想、しゃが向に對し徹底した批判を展開し真
に農業部の有効性を回復すべし全體的討論を通じ立ち上
がらなければならぬだう。

我々は農教授法回文にのむにわたりてこそ最も最初に確認
すべし事実は過去教授法回文において農業部再編を充
實化するには一六〇〇坪位の校园建設されなければな
らぬとの確認したのである。

我々は現在の教授法に對して、過去教授と學生が一致
して空閑田能と共に傾むけたことを忘れて、こゝにあつた
の因、教授法の態度いふんにようては、かにや學生の嫌
者となるつとしていることを強く訴える。

室

40分
120番 教室

- 確固たる教授法を
- 農校園早期着工を
- 三十九年の精神を忘れるな
- すべての勢力は教授法回文に結集しめう

6/20